

令和6年度 第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 令和6年7月12日（金曜日） 午後1時56分から午後3時47分まで

2 場 所 長野市民病院 会議室4・5・6

3 出席者

（出席委員）

伊藤 隆三 委員
奥山 隆平 委員
川合 博 委員
篠原 加代子 委員
田中 幹夫 委員

（委員以外の出席者）

池田 宇一 （地方独立行政法人長野市民病院理事長）
西村 秀紀 （ 同 副理事長）
吉池 文明 （ 同 理事）
草野 義和 （ 同 理事）
下谷 由紀子 （ 同 理事）
櫻井 伸一 （ 同 理事）
木下 美恵子 （ 同 事務部副部長兼財務課長）
北原 啓祐 （ 同 人事課長）
高沢 貴行 （ 同 医事課長）
蓮見 亮 （ 同 企画課長）
宮澤 毅 （ 同 財務課係長）
丸田 崇紘 （ 同 企画課係長）

（事務局）

臼井 一 （長野市保健福祉部長）
小林 雅裕 （長野市保健福祉部参事兼医療連携推進課長）
相澤 優充 （ 同 主幹兼医療連携推進課長補佐）
立山 晴樹 （ 同 医療連携推進課係長）

4 議 事

（報告事項）

（1）令和5年度の財務諸表等について

- ・令和5年度決算の概要 【資料1－1】
- ・財務諸表等 【資料1－2】
- ・事業報告書 【資料1－3】

・監査報告書

【資料 1－4】

(2) 令和 6 年度 年度計画について

・地方独立行政法人長野市民病院 2024 年度（令和 6 年度）年度計画

【資料 2－1】

・第 3 期中期計画・2024 年度（令和 6 年度）年度計画 対照表

【資料 2－2】

（協議事項）

(3) 業務実績評価の進め方について

・業務実績評価について

【資料 3－1】

・長野市民病院の業務の実績に関する評価実施要領（抜粋）

【資料 3－2】

(4) 令和 5 年度の業務実績に関する評価について

・令和 5 年度業務実績報告書

【資料 4－1】

・令和 5 年度業務実績自己評価一覧

【資料 4－2】

○ 開 会 午後 1 時 56 分

（事務局）

ご案内の時間前ではございますが、お集まりですので、ただ今から始めさせていただきます。

本日は、松本委員がご都合により欠席されておりますが、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第 7 条第 2 項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただ今から、令和 6 年度第 1 回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日、会議の進行を務めさせていただきます、保健福祉部医療連携推進課の相澤でございます。

なお、本日の会議につきましては、午後 4 時頃の終了を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の委員会につきましては、公開で行い、議事録調製のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

はじめに、本年度第 1 回の評価委員会の開催に当たり、保健福祉部長の臼井からご挨拶を申し上げます。

（臼井保健福祉部長）

こんにちは。保健福祉部長の臼井です。

本日は、大変お忙しいところご参集いただきまして、本当にありがとうございます。

本年度第 1 回目の評価委員会の開会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

長野市民病院は、地方独立行政法人に移行して 8 年が経過し、現在、第 3 期中期計画の 3 年目を迎えています。この間、市民病院の運営につきましては、委員の皆様のご指導、池田理事長をはじめ、病院スタッフの多大なるご尽力により、順調に推移しております。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

市民病院では、3 月に既存病棟の改修工事が竣工しまして、令和 3 年度から取り組んできた病院再整備事業が完了したところでございます。改修工事により、施設の老朽化、狭隘化の解消と、患者さんの

プライバシー、利便性の向上が図られました。今後も、高度急性期医療の更なる充実を図りながら、地域包括ケアシステムの構築を一層推進し、公立病院としての使命と責任を積極的に果たしていただくとともに、委員の皆様の評価を通じまして、医療サービスの向上、病院の業務改善が一層推進されることを期待しております。

本年度は、令和5年度の業務実績評価についてご審査いただきます。委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

それでは、今日は1日、よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、奥山委員長からご挨拶をお願いいたします。

(奥山委員長)

委員長を務めさせていただきます信州大学の奥山です。

委員の先生方、昨年に引き続きまして、厳正なるご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

(事務局)

ありがとうございました。

次に、本日ご審議いただく令和5年度の業務実績評価につきましては、評価委員会条例第2条第1項第2号の規定により、評価委員会は、市長の諮問に応じて意見を述べることとなっております。つきましては、本件を評価委員会へ諮問させていただきますので、保健福祉部長から委員長へ諮問書を伝達いたします。

(臼井保健福祉部長)

地方独立行政法人長野市民病院の令和5年度業績実績評価について、貴評価委員会の意見を求めます。よろしくお願いいたします。

(諮問書を奥山委員長に伝達)

(奥山委員長)

謹んでお受けいたします。

(事務局)

それでは次第の4、会議事項に入らせていただきます。評価委員会条例第7条第1項の規定によりまして、委員長が議長となりますので、ここからは奥山委員長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(奥山委員長)

それでは始めさせていただきます。始めに、長野市民病院から発言を求められていますので、説明をお願いします。

(長野市民病院)

配付資料により、長野市民病院の経営状況等について説明

(奥山委員長)

ありがとうございました。ただ今のご説明について、委員の皆様からご質問等がありましたらお願いいたします。先生方いかがでしょうか。

特にないようですので、次第に沿って進めてまいります。

それでは、報告事項（１）の「令和５年度の財務諸表等について」、長野市民病院からご説明いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(長野市民病院)

資料１－１～１－４について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。それでは委員の先生方からご質問、ご意見いかがでしょうか。

(伊藤委員)

任意でトーマツの監査を受けられていますよね。トーマツの監査からはどのような意見が出ていますか。差し支えなければ、資料を読ませてもらえると大変ありがたいです。

(長野市民病院)

監査法人につきましては、以前はトーマツさんにやっていたいていましたが、現在は、あすの監査法人さんというところでやっています。意見書をいただいておりますので、後ほどご用意させていただきます。内容としましては、問題ない旨の意見書をいただいております。

(伊藤委員)

わかりました。

(奥山委員長)

では、この会議の最後の方でそれをお見せいただけますか。それとも次回ということでしょうか。

(長野市民病院)

今日ご提示できるか、確認させていただきます。

(奥山委員長)

では、伊藤先生、どうしても間に合わないようでしたら次回ということでもよろしいでしょうか。

(伊藤委員)

結構です。

(奥山委員長)

他にはいかがでしょうか。結構でしょうか。

それでは、報告事項の2に移らせていただきたいと思います。

報告事項の2、令和6年度の年度計画に関しまして、市民病院の方からご説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

資料2-1～2-2について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。2024年度の年度計画についてご説明をいただきました。委員の先生方からご質問やご意見がありましたらいかがでしょうか。

(川合委員)

ダ・ヴィンチが2台体制になるということで、もう導入されたと思いますが、保険診療上の適用疾患がかなり広がってきているということでしょうか。2台体制でも保険診療請求もできる、十分採算が合う状況になってきているということでしょうか。

(長野市民病院)

保険診療の対象疾患が非常に増えてきましたので、例えば、今年度着手しますのは、結腸がん、肝臓がん、婦人科の子宮体がんです。いずれも保険診療になっていますので、外科の医師がスタートさせたということで、2台体制にしています。当院は、泌尿器科が前立腺がんの手術が得意で、広域から患者さんが来ていますが、ほとんど泌尿器科がダ・ヴィンチを使っています、他の科は使う枠がないということで、2台体制にしました。

(川合委員)

ちなみに昨年度の実績でダ・ヴィンチ手術の件数は、どのくらいでしたでしょうか。

(長野市民病院)

年間250件くらいですので、多分1日1件くらいです。通算では約2,000件になっています。

(奥山委員長)

ダ・ヴィンチ手術は、加藤先生が中心にやられていることと思いますが、一方で、これはやればやるほど儲かるものなのでしょうか。それとも病院の使命として儲けは出なくてもやられているのでしょうか。

(長野市民病院)

泌尿器科の前立腺がんに関しては、手術加算がつくのでメリットがありますが、先ほど申しました結腸、肝臓、子宮体がんに関しては、ロボットを使わない普通の腹腔鏡手術と手術手技料は一緒ですので、病院にとっては持ち出しになります。持ち出しにはなりますが、やはり質の高い医療が提供でき、安全性も高まりますので、実施しているところです。

(伊藤委員)

資料２－１の年度計画を読ませていただいて、ちょっと気になったのが、２ページのがん診療のところで、「有資格者を配置し」という文言がずらっと並んでいます。例えば、ウで「放射線治療に関する有資格者を配置し」、エで「薬物療法に関する有資格者を配置し」、オで「がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し」、カで「緩和ケアに関する有資格者を配置し」、キで「歯科医師及び歯科衛生士を配置し」と随分「配置し」が並んでいます。これは、有資格者が少ないから余計に配置するということでしょうか。それともいないから配置するということでしょうか。

(長野市民病院)

医師や看護師、放射線技師の中でも専門的な資格を持った者が多数いまして、そうした専門的な資格を有した職員を適切に配置していますということを年度計画に記載しております。足りないとか、いないということではなく、しっかりとした体制を整えているという意図で記載しております。

(伊藤委員)

そういうことですね。もうすでに配置されているということですね。

(長野市民病院)

そのとおりです。

(伊藤委員)

わかりました。

(奥山委員長)

委員の先生方よろしいでしょうか。

それでは、報告事項の２を終了とさせていただきまして、協議事項の（３）の業務実績評価の進め方に関しまして、事務局の方からご説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

資料３－１～３－２について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。

前年と同様に評価をするということになるかと思います。今ご説明いただきました、評価の進め方に関しまして、委員の先生方、何かございますでしょうか。

進めながら何か疑義がございましたら、ご発言いただくということにいたしまして、この進め方に関しては終わりとさせていただきたいと思います。

続きまして、(4)の令和5年度の業務実績に関する評価に関してでございます。こちらも引き続き事務局の方からご説明のほどお願いいたします。

(事務局)

資料4-1という厚めの資料をご覧いただきたいと思います。これは6月25日付けで長野市長宛に提出された令和5年度業務実績報告書でございます。また、次の資料4-2につきましては、法人の自己評価を一覧表にしたものでございます。

先ほどご説明しました評価実施要領に基づいて、この報告書に沿いまして、中項目ごとに評価をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

(奥山委員長)

それでは審議の進め方ですが、まず、この中項目ごとに長野市民病院の方からご説明をいただき、各項目に関しまして、中項目ごとに委員の先生からご質問とご意見をいただいて、評価委員会としての評価点を提示するという進め方にして参りたいと思いますが、委員の先生方よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは、そのような進め方にさせていただきたいと思います。まず、資料4-1の6ページの大項目の第1のうち、中項目1の「市民病院が担うべき医療」について、市民病院からご説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第1 中項目1「市民病院が担うべき医療」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様からご質問やご意見を頂戴したいと思います。この評価項目の1の最初、「市民病院が担うべき医療」に関してでございます。いかがでしょうか。

せっかくの機会ですから、篠原委員、何かご意見、コメントはいかがでしょうか。

(篠原委員)

ありがとうございます。せっかくのご指名ですので、感想を述べさせていただきます。

先生方、看護師さんはじめ、長野市民病院に関連していらっしゃる皆様のご尽力で、願わくばこの

年齢になっても病院にお世話になりたくはないんですけど、このように病院の体制をしっかり立てていただいているということを拝見しまして、本当に心強く思いました。

また、1月1日の能登半島の大地震に対しても、早速4チームも派遣していただいて、長野市民病院として活躍されているという現実を拝見しまして、長野市民の1人として誇りに思っております。

ただ、救急搬送を原則断らない体制というのが、ドクターや看護師さん、どこの分野も今人材不足と言われていますが、現実はどうなのだろうかと心配しておりますが、いかがでしょうか。

(長野市民病院)

ありがとうございます。当院は、救急車で搬送される方については、できるだけ断らないで対応しています。一方、「ウォークイン」と言いますが、夕方とか夜間にご自分で来られる方に関しては、受診を待てるような状況でしたら、次の日に受診していただくなど、できるだけ救急の現場スタッフに負担がかからないような対応をしています。ホームページなどでも、いわゆるコンビニ受診は控えていただきたいというお願いをしております。

(篠原委員)

ありがとうございます。ドクターやナースの健康やメンタル面を整えていただくのも、先生方のお仕事かなと思いますので、是非よろしくお願いいたします。

(奥山委員長)

それでは、委員の先生方、病院の方からは、4という自己評価をいただいておりますが、ここは4という評価でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。

それでは最初の、市民病院が担うべき医療は、自己評価4というのを、評価委員会としても認めるということといたします。

続きまして28ページの「患者サービスの向上」に関してでございます。こちらも引き続き、長野市民病院からご説明をお願いします。

(長野市民病院)

大項目第1 中項目2「患者サービスの向上」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。

ご説明いただきました「患者サービスの向上」に関してでございます。委員の先生方からご意見やご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

(伊藤委員)

全体的に、非常によくやっただいただいていると思います。接遇のレベルを上げるため、受診環境向上に努めていらっしゃると思います。ただ、その中で、31 ページのエ「外来診療の待ち時間件数、検査・手術待ち改善等」に、外来待ち時間に対する患者満足度が 34.8%とありますが、このような低い数字になってしまうのでしょうか。

(奥山委員長)

31 ページの右下の部分でございます。なかなか難しいところかと思いますが、いかがでしょうか。

(長野市民病院)

ありがとうございます。満足度調査は、項目が細かく分かれていまして、伊藤委員からご指摘のように、外来待ち時間が極端に低い 34.8%という数値でした。実は、1 年前はかなり待ち時間が短縮できたんですが、また延びてしまいました。主に採血の待ち時間ですね。採血時間が 20 分待つとかですね。その原因も分かっているんですけど、早速体制を整えまして、外来には採血の待ち時間も出てくるんですけど、私は毎日外来に行ってその待ち時間を見ているんですが、少し待ちが長くなったらスタッフを多く入れるようにして、改善するように努めています。今年度は必ずここは改善できると思っています。

(伊藤委員)

外来患者の総合満足度では、79%ぐらいですからね。

(篠原委員)

病院ボランティアですけれども、はづきの会の方の活動も、コロナ禍で、皆さん様子を見て、活動したくてもできない状態だったことが、ここ 3 年ぐらいありました。今日こちらに伺ったら、1 階のロビーのところに七夕の飾りがありまして、ちょっと足をとめて拝見しましたら、世界平和とか、早く元気になって退院できますようにとか、本当に心のこもったメッセージが短冊に書いてありまして、そんなに大きなものではなかったんですけど、患者としてこちらの病院を訪ねたときに、すごく心がほっとするんじゃないかなと思って、ボランティアの方がされたということを受付の方から伺いましたけれども、やっぱりちょっとしたコーナーでもそういうほのぼのとしたものがあると、患者の皆さんの気持ちが和らぐんじゃないかなと、大変うれしく思いました。

(奥山委員長)

ありがとうございます。

それでは、今までの討議を含めまして、ここの部分、「患者サービスの向上」に関しては 1 つ、小項目で評価 3 があるということですが、他の項目が 4 ということで、病院の方からは 4 という自己評価をいただいておりますが、いかがでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは、ここの部分の中項目評価は、4とさせていただきます。

続きまして、34ページの「医療に関する調査及び研究」という部分に関して、引き続き病院の方から説明をお願いします。

(長野市民病院)

大項目1 中項目3「医療に関する調査及び研究」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。

それでは、中項目の3番目、「医療に関する調査及び研究」に関して、自己評価は4ということですが、委員の先生方、ご質問、ご意見、お受けしたいと思います。いかがでしょうか。

治験を積極的に受け入れられているということなんですが、収益的にはあまり大きな割合ではないと思います。ただ、比較のお金を使わないで収入が得られるから純利益が大きいと思うんですが、実際問題、病院の収益にプラスになっている状態でしょうか。

(長野市民病院)

年間で大体4千万円程度の収益を計上しています。

(奥山委員長)

ありがとうございます。それは段々増えていますか。

(長野市民病院)

少しずつではありますが、増加傾向にあります。

(奥山委員長)

ちなみに、医学雑誌は、病院で作られて、印刷されていると思うんですが、病院のご負担にはなっていないでしょうか。

(長野市民病院)

100万円ぐらいかかっております。

(奥山委員長)

個人的な見解になりますが、費用がかかって大変でしたら、無理をしなくても、今、ペーパーレスということで、オンラインで配布して、印刷はしないというような方法もありますので、もし重荷でしたら、無理して印刷されなくてもよろしいのかなという気もいたします。

(長野市民病院)

ご配慮ありがとうございます。1つのメリットは、今、初期研修医が、8名いますが、彼らが経験し

た症例を報告するページを設けています。ですから、論文作成の良いトレーニング場にもなっています。今後、必要でしたら先生が言われるような対応も考えていきたいと思っています。

(奥山委員長)

実情に合わせてご検討いただければと思います。

他にご発言はないでしょうか。

それでは、3の「医療に関する調査及び研究」は、自己評価4ですが、評価委員会としても4でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。こちらも4とさせていただければと思います。

それでは、次、35ページにいきまして、中項目の4、「医療提供体制の充実」に関してでございます。こちら長野市民病院の方からご説明をお願いします。

(長野市民病院)

大項目1 中項目4「医療提供体制の充実」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。委員の先生方の方から質問やご意見がありましたらお受けいたします。

(川合委員)

資料の40ページですが、コンピュータ・ロボットを用いた定型作業の自動化というものですが、前回もお聞きしてなかなかイメージが掴めないんですが、現実的にはどのように活用されているのでしょうか。

(長野市民病院)

財務課長の木下です。以前、医事課にいましたので説明させていただきます。

特に入院の請求において、担当者が目視で、漏れがないかカルテをチェックすると、非常に時間もかかるんですが、それをある程度の項目を決めて、夜中の間に電子的にチェックするシステムをこのコンピュータ・ロボットでやっております。

(川合委員)

要するに、電子カルテを見ながら、保険請求できる項目をピックアップしてくるようなソフトがあるんですか。

(長野市民病院)

医事課のシステム係でシステムを作りまして、活用しております。

(川合委員)

市民病院独自のソフトということですか。それは素晴らしいですね。

(長野市民病院)

ある程度は外部から購入していますが、それを更に改良しながら使用しております。

(川合委員)

かなり省力化できると思いますが、精度はいかがですか。

(長野市民病院)

入院係は少しでも請求を漏らさないように必死でやっているの、とても残業が多いんですよ。それがこのシステムによって、残業が多少減ったと思います。

(川合委員)

アイデアを出してそういうソフトを開発するということは素晴らしいことなので、そういった情報を交換し合ったりして、多くの病院で使えるようなソフトに発展したら、他の病院もかなり助かるんじゃないかなと思います。

(長野市民病院)

今、働き方改革で、医師や看護師だけでなく、事務の方、特に医事課も、残業を減らすためにそういうようなものを使って、研究しているところです。

(川合委員)

是非大いに発展させていただいて、普遍的なソフトを作っていただくとかなり良いと思います。

(長野市民病院)

他にも例えば、医師がオーダーをした場合に、医師事務が代行入力して、医師は後で承認しなければなりません、ロボットがずっとチェックをしていて、例えば5月分の代行入力の承認がまだされていませんというように連絡がきたりします。

(川合委員)

大いに発展させていただくといいかなと思いますね。そういうことが得意な人材がいらっしゃるんですね。

(長野市民病院)

大分負担はかかっていますが、かなり頑張ってくれています。

(奥山委員長)

他にいかがでしょうか。

私の方から1つお尋ねしたいんですが、小項目（7）の医療職の人材確保及び育成というところでございます。

判断理由のところで、「医師、看護師、薬剤師ほか、多くの医療スタッフの資格取得を支援し、専門性を持った人材の育成に努めた」とございます。伊藤先生から先ほどのご指摘にもあるんですが、新しい資格の取得を積極的に進めるというのは、大変素晴らしいことだと思うんですが、看護師さんが、認定看護師の資格1つとるのに、講習を受けに行くと、数十万円かかるとお聞きしました。そうすると、なかなか自己努力で勉強、自己研鑽をして、休みを取って、資格を取りに行くということは、お金の面でなかなか容易ではないと思うんですが、経済的な支援はどのようにされているのか、お聞かせいただけないでしょうか。

（長野市民病院）

財務課の宮澤と申します。当院へのご寄付を積み立てた「ふれ愛基金」がございまして、この基金を財源として資格取得などの人材育成費に充てさせていただいております。

（奥山委員長）

長野市民病院として、十分その財源は確保しているということでしょうか。

（長野市民病院）

看護部長の下谷と申します。補足いたします。実際に研修に行っている際も、出張扱いにしております。組織としても支援しております。

（奥山委員長）

組織として、積極的に支援されていて、お金の面でも基金、ご寄付で十分に財源は足りていますか。

（長野市民病院）

財源は十分ございます。

（長野市民病院）

資格を取得するのに1人当たり大体100万円かかります。病院で半分の約50万円を負担して、残りの半分は、ふれ愛基金から支出をしております。

（奥山委員長）

いろいろな資格がありますので、看護師さんも薬剤師さんも、資格を取るのは大変だとは思いますが、金銭面の心配がないのは、素晴らしいなと思います。

委員の先生方、他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、中項目4の「医療提供体制の充実」について、自己評価は4ですが、評価委員会としても評価は4でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。続きまして、49 ページの「経営管理機能の充実」に関して説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第2、中項目1「経営管理機能の充実」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。「経営管理機能の充実」という項目に関して、委員の先生方からご意見、ご質問をお受けさせていただきたいと思います。

(田中委員)

監査法人との任意契約は、会計、財務の監査ということでしょうか。例えば、内部統制とか、そういう体制面についてアドバイスを受けられたりとか、そういったことまで契約に含まれているのでしょうか。

(長野市民病院)

現在の契約では、財務諸表の監査をやっていただいております。内部統制につきましては、はじめに整備した際には、別途、同じ監査法人と内部統制についての契約をしてアドバイスをいただいております。

その後、内部統制の体制が整った後は、自分たちで運用していますので、今は、財務諸表の監査をしていただいております。

(田中委員)

もう1つよろしいですか。

経営に関する会議、理事会を開催されていますが、その開催状況とか、理事の参加状況とか、監事さんが毎回参加されているのか、そのあたりの状況を教えていただければと思います。

(長野市民病院)

理事会につきましては、3 か月に1 回、年に4 回開催をしております。理事は原則として出席しています。監事もできるだけ出席いただくようにしていて、必ず1 人は出ていただくようしています。

ホームページで議事録を公開しており、出席者についても記載しております。

(奥山委員長)

経営管理機能の充実ということで、特殊な分野かと思いますが、伊藤先生、特に結構でしょうか。

(伊藤委員)

非常にいい取り組みをされていると思います。

(奥山委員長)

川合先生、結構ですか。

(川合委員)

はい。

(奥山委員長)

篠原委員、よろしいですか。

(篠原委員)

はい。

(奥山委員長)

それでは、自己評価4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。

では4ということで、次に進めさせていただきたいと思います。続きまして、中項目の2、「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」に関して、ご説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第2 中項目2 「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」に関して、委員の先生方いかがでしょうか。

(伊藤委員)

54 ページの小項目の(1)の判断理由のところですが、「定期昇給停止と定年延長などの適切な見直しに向けて検討を継続した」とあるんですが、この定期昇給停止というのは、非正規職員の皆さんのことを指しているんですか。

(長野市民病院)

人事課長の北原と申します。

ご指摘の部分につきましては、正規職員を対象とした検討を継続したということです。

(伊藤委員)

正規職員の方の定期昇給停止ということは、例えば、退職年齢を過ぎた人の昇給とか、そういうことですか。

(長野市民病院)

仰せの通りで、長野市職員につきましては、50代半ばで定期昇給が停止という措置がありますが、当院の場合は完全に準拠してない状況でございます。

これにつきましては、労使協議を経て、慎重に進めていかないといけませんので、継続課題となっております。

(伊藤委員)

そういうことなんですね。わかりました。

(奥山委員長)

昨年度、川合先生から働き方改革に対するご質問が出たかと思います。市民病院の場合は、働き方改革に対する対応、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、その状況はいかがなものでしょうか。順調に進んでいるのでしょうか。

(長野市民病院)

働き方改革につきましては、毎月2回、定例のワーキンググループで会議を開いておりまして、職種別に、適切な働き方について、継続検討しております。職員数も、正規職員の採用を増やしたり、適正な人員配置に努めるとともに、また、ドクターにつきましても、一部の科では、始業開始時間を30分早め、終わりの時刻を30分繰り上げるなど、いわゆる変形労働時間制なども導入したりして、工夫に努めているところであります。

(奥山委員長)

いろんなところで話題になると思うんですが、どこからどこまでが業務で、どこからが自己研鑽かという点は、現時点では問題になるようなことはございませんでしょうか。今のところは順調に進められているのでしょうか。

(長野市民病院)

当院は、医師の働き方改革は、A水準、年間960時間以内の時間外労働の体制を敷いていますが、診療部の働き方改革ワーキンググループ診療部会というのがありまして、そこで自己研鑽と、勤務を分ける一覧表を作って明確にしていますので、今のところは大きな問題にはなっていません。

(奥山委員長)

更にお尋ねさせていただきますと、収支が十分黒字なので、あまり問題になっていないかもしれませんが、人事院勧告がこの後出てくるかと思うんですが、市民病院は人事院勧告に対して、十分対応し得るような状況でございましょうか。

(長野市民病院)

今年度もプラス改定がなされるのではないかと想像しますが、当院は労使協定により、人勧に準拠するということになっています。

(奥山委員長)

やっぱり人勧がありそうかどうかで大分職員の方のモチベーションが左右されるようなので、それは大変良いことかと思います。

川合先生、これまでのご経験を踏まえていかがでしょうか。

(川合委員)

かなり皆さん努力をされていると思うんですが、大体A水準をクリアできるということなんですね。

(長野市民病院)

はい。

(奥山委員長)

経営者の立場から、伊藤先生、結構でしょうか。

(伊藤委員)

素晴らしいと思います。

(奥山委員長)

それでは、委員の先生方、この中項目も自己評価は4ですが、4でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。では評価委員会の方でも4とさせていただければと思います。

続きまして、57 ページ、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」ということで、中項目の1、「効率的な経営の推進」、この部分は5という評価になっております。この点に関してご説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第3 中項目1「効率的な経営の推進」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。それでは、「効率的な経営の推進」に関して、委員の先生方からご質問、ご意見をいただければと思います。

(篠原委員)

まずは、8年連続で黒字経営ができたということの実態が本当に素晴らしいなと感じました。

それから、未収金の残高を低減させるための取組が書かれていますが、大変なご努力があったんだと思います。未収金が発生する原因を教えていただくことができますでしょうか。

(長野市民病院)

3月まで医事課長を務めていました木下と申します。一番大きな未収金の発生要因は、外国人患者への対応にあります。外国人が医療機関にかかった場合、保険に入っていないので、自費診療になりますが、旅行などで来たときには、その場で医療費をいただかないと、帰国された後はもう追えません。そのため、来院された時点で必ずお金はありますかとか、カードを持っていますかと確認をするようにしています。その結果、現在は、外国人患者の未収金は、ありません。

それから、入院患者さんの中でも、本当にお金がない、収入がない高齢者の方もいらっしゃいます。その場合でも、いつでもいいですよということではなく、たとえ月に千円でもいいですから、年金をもらったときにはお支払ください、ということで約5年かかって、未収金を回収したことがあります。

そして、退院時にお金を払えない場合は、理由を確認して、いつまでに支払うか文書で約束をいただいております。そのようなことを徹底した結果、ここ2、3年で未収金が減ったと感じています。

あとは、弁護士委託については、30%の成功報酬がかかってしまうので、積極的に委託するのではなく、できるだけ自分たちでやって、どうしても駄目な場合のみ弁護士さんをお願いするようにしています。弁護士に委託しても回収できず、10年以上経過したもの、どうしても追えないものについては、昨年度、徴収不能として処理しました。

(伊藤委員)

どのぐらい損失で落としましたか。

(長野市民病院)

800万円です。

(伊藤委員)

そのぐらいで抑えているんだから、すごいと思います。

(長野市民病院)

他の病院では1千万円を超えるような未収金があるかと思いますが、去年の未収金については、何とか200万円に抑えました。

(伊藤委員)

すごいと思います。

もう1ついいですか。58ページの関連指標のうち、例えば、1日当たり入院単価や、医師1人当たりの診療収入は、22年度より少しずつ上がっていますよね。これは、人件費の増加とか、材料の価格が上がったことの反映ですか、それとも純粋に利益が上昇したのでしょうか。

(長野市民病院)

23年度の収益、入院収益とか外来収益というものが、単価が上がったのは、施設基準や各種加算を一生懸命取るように取り組んだことの積み上げで、診療の単価が上がったということです。

(伊藤委員)

仕入れ価格が上がったから上げたということではないわけですね。

(長野市民病院)

そのとおりです。

(伊藤委員)

いろいろな項目で記載されているように、収入の確保をしっかりとっているということですね。

(長野市民病院)

医療費の請求というのは、非常に難しいですが、医師、看護師、技術士の人たちが行った対価として、私たち事務方がしっかり請求しなければいけないんですね。本当にしっかりと請求ができれば、このような形で積み上がっていくものと思っています。

(伊藤委員)

こういう取組がなかなか難しいんですね。すごいと思います。

(奥山委員長)

これは単に1人当たりの患者さんからこれだけ収入があったというもので、ここから薬剤費を引いたり、原材料費を引いたりして、いくら儲かったかということになります。説明されるように、1人当たり単価が上がれば、基本的には上がっていくと思うんですが、その儲けた分から、いろんな支出を引かないといけないので、長野市民病院に限らず、100万円お金が動いても、収益としては数千円しか儲からないような仕組みになっているのではないかと思います。

(長野市民病院)

これは収支ではなくて、収入になります。例えば、下から3行目の1人当たり外来単価につきましては、説明の中に、薬物療法の注射薬剤収入の増加等により増加したと書いてありますが、高額な抗がん剤を使ったものは、仕入が多くなっていますので費用がかかっている、その分の患者さんからいただく

収入も多くなっているということで、単価が上がります。収入が上がりますと、分母の職員数はそんなに変わりませんので、医師1人当たりとか看護師1人当たりの収入というところは変わってきます。

費用を含めて考えた場合には、奥山委員長がおっしゃったとおり、やはりかかる費用が増えていきますので、その差引で収支が出るという仕組みになっております。

(奥山委員長)

申し上げたいことは、この単価というのが純利益ではないということです。

(伊藤委員)

そうですね。ここには必要な経費が当然かかりますからね。ありがとうございます。

(奥山委員長)

基本的に非常に素晴らしい状態だと思います。

市民病院の方から、評価は5でいかがかというご提案をいただいています。計画を上回り、顕著な成果が上がるということですが、認めてよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。それではこの部分は5とさせていただければと思います。

次の中項目2「経営基盤の確立」のご説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第3 中項目2「経営基盤の確立」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。この項目も5点という自己評価ですが、委員の先生方いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、自己評価は5ですが、委員会の評価も5でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは、委員会の評価も5とさせていただければと思います。

次に大項目の4番目、「その他の業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」の中項目の1、「施設設備等に関する事項」になりますが、ここの部分の説明をお願いいたします。

(長野市民病院)

大項目第4 中項目1「施設設備等に関する事項」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。ご説明いただいた「施設設備等に関する事項」に関していかがでしょうか。
特にないようでしたら、改善が図られているということで、自己評価は4ですが、認めてよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。それでは、大項目の8「その他の設立団体の規則に定める業務運営に関する事項」の中項目の1、「施設及び設備に関する計画」についてご説明をお願いします。

(長野市民病院)

大項目第8 中項目1「施設及び設備に関する計画」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。この部分に関して、先生方いかがでしょうか。

(伊藤委員)

予算は20億円を超えていますが、実績は14億円でした。何か大きなものを先に送ったとかそういうことなんですか。

(長野市民病院)

リニアックの装置について、今年度更新を予定しておりまして、かなり高額なものですが、県の補助金が今年度の申請となっていることから、当初の予定より1年送ったために2023年度は予算額より少なくなっております。

(伊藤委員)

わかりました。

(奥山委員長)

それでは、ここの部分もよろしいでしょうか。

自己評価は4ですが、認めてよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。委員会の評価も4と判断させていただきたいと思います。

以上で一通り審議が終わりました。本日の結果を踏まえて、事務局の方で整理していただきまして、次回の評価委員会で確認して、意見書案について審議したいと思います。全体を通じまして、委員の先生方から何かご発言等がありましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(長野市民病院)

先ほどの監査法人の監査報告書をご用意できましたので、お配りさせていただきます。
たくさん書いてありますが、問題ないというご意見をいただいております。

(伊藤委員)

この報告書は頂戴してよろしいですか。

(長野市民病院)

取扱注意でお願いしたいのですが、お持ち帰りいただいても大丈夫です。

(伊藤委員)

それでは戻ってゆっくり読ませていただきます。

(奥山委員長)

それでは、以上をもちまして、本日の議事はすべて終了とさせていただければと思います。円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

また、委員の各先生方から貴重なご意見をいただきまして、深謝申し上げたいと思います。

それでは、事務局の方にマイクをお返ししたいと思います。

よろしくお願いします。

(事務局)

奥山委員長ありがとうございました。次第の5、その他といたしまして、事務局から今後の予定につきましてご説明を申し上げます。

次回、第2回評価委員会は、8月9日金曜日を予定しております。

先ほど委員長からお話がありまして、本日いただいたご意見を事務局で整理させていただき、評価委員会としての意見書案についてご審議いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の議事録につきましては、事務局で議事録の案を作成し、次回の評価委員会でご承認をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和6年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。
長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

○ 閉 会 午後3時47分